

# なま

12月号  
vol. 178



特集

# だじだじ

⑰ ルールは後からついてくる

「一杯いかが？」  
cafe&bar Charge こと撮影

2018年1月からゆ〜とあいは居住支援法人のなかま入り。まちの人の相談の中で「このまちの公営住宅や古い木造住宅をもっと活かさなきゃ。」そんな気持ちがふつつあふれてくる。ヒントを探しにいろんなところへ、いろんなひとに。

# ゆ〜とあ

⑰ ルールは後からついてくる

## 「自治」×「住まい確保」 @公営住宅

2018年11月号から隔月連載していた「すむすむ」も今回でいったんお休み。初回は「西成の公営住宅」がテーマ。西成で市営住宅が建設され、住民自治による維持管理、高齢化による自治の限界を取り上げた。それから3年。「自治」だけでなく、「住まい確保の肝」として市営住宅を活かす方法を考える機会が増えた。市営住宅の集積十老朽木造住宅密集地では、ファミリー向け賃貸住宅がなかなか見つからない。地域には1500戸以上の市営住宅があり、200戸以上の空室があっても、入居までに2か月はかかるし、校区内で申し込んでなかなか当たらない。

2021年3月には国の通知(国住備639号 住まいに困窮する者の自立支援のための公営住宅の活用)で公営住宅を住宅確保要配慮者にも活用できる可能性が示された。が、実感は

全くない。居住支援法人や社会福祉法人が関わって公営住宅を活用すれば、「自治」と「住まい確保」の問題が解決するかもしれない。そんな期待をもって、茨木市の府営住宅でスタートした公営住宅活用型の若年女性向けシェアハウスの取り組みについて、仕掛け人の辻由起子さんに聞いてみた。

## 「ボロボロの2周目を生み出さない」

10代で母親になった。親に勘当された。DV夫と別れた。シングルマザーになった。これは辻さんの経験だ。だからこそ、当たり前とされがちなこと

のありがたみが身に染みている。

親はベーシックインカムだ。実家を頼れば家賃・光熱水費はいらない。保証人の心配もない。時にはお金も貸してくれる。頼れる親があれば、福祉に直結せずに、なんとかやり直せる。では、親を頼れなければどうなる？

ワンオペで精いっぱい仕事と子育てをこなしてきたが、失業↓住まい喪失↓素通りする各種制度。すつからかんなった状態で役所に相談。そこから自立を目指してがんばって就職しても、心身共に疲れ果て長続きせず失業。そして、ボロボロの状態での2周目のサイクルを余儀なくされるシングルマザー。コロナ禍は彼女たちの現実を社会にあらわにした。

辻さんはそんな境遇の女性たちと出会うと3LDKの自宅に受け入れた。家族同然に食事・住まいを共にし、時には保証人にもなりながら、回復するきっかけを待ち続けてきた。見返りを求めることなく本人を受け止め、自らの経験と重ね合わせて必要とされ





る役割を果たしている。

### 「大丈夫です」の意味がわからない？

彼女たちと出会うのはほとんどがSNSだ。役所で相談し、制度の案内をされても、住所や身分証明書を求められると「大丈夫です」の一言でその場を立ち去る。そして「福祉スルー」状態のまま、Twitterで「今日泊めてください」とつぶやく。すぐに「うちにおいてよ」とダイレクトメッセージが届く。羊の皮をかぶった狼や保護団体を名乗るブラック団体が我先にと、助けを求めるつぶやきを狩り



大阪府は公営住宅の目的外利用に積極的で、小規模保育所や障がい者のグループホーム、子ども食堂などに活用するなど全国でも屈指の取り組みがある。今回もシングルマザーの利用を想定し、1部屋は1人利用という要件などを緩和してくれた。ただ、目的外利用の導入には自治会の承認が必須。地元出身の辻さんが関わることで茨木市ではスムーズに進んだが、地域で同様の取組みを推進するには、丁寧な調整が必要になりそう。

### ハウルの前に思いやり。事業者の都合で家賃は決めない

改修費と家具家電購入費で150万円弱の初期費用が必要だったが、地元のライオンズクラブから50万円の寄付をいただき、残金は菊竹さんと辻さんの2人で折半した。府に支払うランニングコスト(使用料、共益費、駐車場)は年75万円弱。家賃は光熱水費・月1回のハウスキーピング・サポートなどの費用込みで2万5千円。定員3人で

にくる。

役所は相談窓口を設け、電話相談、郵送にも対応していることで役割を果たしているつもりかもしれないが、電話番号に市外局番があることを知らない、郵便物を出したことがない、スマホがライフラインの要である若者世代が漏れ落ちていることに気づいていない。なによりも「大丈夫です」と立ち去るのは、自分が大丈夫なのではなく、「あなたを頼ることはできない」と悟った言葉であることにも気づいていない。

だからこそ、辻さんは合意を得て、リストカットやオーバードース(薬物過剰摂取)など彼女たちの極限状態と自らの活動をSNSで積極的に発信する。「ここに来たらなんとかするよ」という空気感にあふれた「辻由起子」の個人アカウントには、助けを求めるメッセージがたくさん届く。

### 空室だらけの公営住宅をなぜ使わない？

フル稼働しても年間90万円の収入で収支的には厳しく映る。ただ、若年女性とシングルマザーの自立・独立につながる家賃設定はこの金額がMAX。

菊竹さんは「赤字になっても、ないものをつくる。困っている方に喜んでもらう。こんな楽しいことはない」とさほど気にしていない。辻さんは「支援はわたしがやりきる。事業継続に困ったら、寄付を呼びかける」とさらなる負担を利用者に求めるつもりは毛頭ない。さらに、住宅自治会でよく課題となる草刈りを、辻さんの自腹で1区画5000円のバイトと位置づけ、学生ボランティアを巻き込むきっかけ。利用者の就労支援、自治会も喜ぶ三方よしの取り組みに早速変えている。とはいえ、辻さんの生計はどうなっているのか？ 気になるところだが、

コロナ禍で届くメッセージは増えた。自宅だけでは資源が足りないかと考えていた時に、府営住宅(約12万戸)が空室(約1万2千室)だらけというところを知った。しかも2020年4月には国交省はコロナ禍で住まいを失った方々に公営住宅を活用する通知を出している。ひとり暮らしよりもゆるやかなつながりを生み出しやすい公営住宅活用型のシェアハウスのアイデアが浮かび、早速、動き出した。

つながりのある茨木市長や大阪府庁の職員、研究者の葛西リサさん、関西のシェアハウス業界でトップランナーの(株)アドミリ菊竹さんを頼った。すると、あっという間にコトは動き始めた。1月13日に菊竹さんと打ち合わせ。1月27日に府営住宅の内覧。2月9日に茨木市長が同席する場で子ども若者支援グループの事業に位置づいた。国交省の手続きは手間取ったが、9月1日には府営住宅の目的外利用枠で若年女性向けシェアハウスがスタートした。



シングルマザー時代に節約が身につく、月12万円あれば生活できる。同居する子どもも自立し自宅の家賃を負担してくれているし、おかげさまで講師の引き合いもある。だから、非営利で彼女たちと向き合っているそう。

どこがやる？ 誰がやる？ 制度・収支つんぬんではなく、おもいやりを持って受け止める。どっにかしたい課題にはまず行動。ひとりりで無理そうならみんなに助けを求める。問われているのは「人VS課題」。茨木市の事例をアリの一穴にできるかどうかは、あなたたちの行動次第と問われている気がした。

文責：山村裕太・田岡秀朋





# にしなりもん

西成にもまだまだ発掘されていない文化資源・社会資源は存在するはず。これら西成産のモノやコトを「にしなりもん」と名づけ、その由来やエピソードを辿っていきます。

## 人を笑顔にするお店 「居酒屋 一休」

お酒の一番の友というところ、みなさんは何を思い浮かべるだろうか。ソーセイジに唐揚げ、チーズや生ハム等、おつまみに最適な食べ物はいくらもある。煙草こそ最高の「友」という人もいるだろう。

お酒は楽しい気分になる。では、楽しい気分になるときにピッタリなものは？あえて言おう、ズバリ、カラオケである。

今回はカラオケとお酒が楽しめるお店「居酒屋 一休」をご紹介します。本店は今年で開業18年を迎える。店主の梶田美智子さんは以前、別の場所で焼き鳥店を営んでいたのだが、今の場所が空き店舗となったのを機に、知り合いからのススメでカラオケ居酒屋をオープンした。

焼き鳥店とは違い、カラオケ居酒屋となつてからお客さんと話す時間が増えたそう。意外なことに、梶田さん

腹も空いていたので、料理を注文しようと思えば壁に目をやると、壁にマーカーで直接メニューが書き込まれていた。なんとも勇ましいお品書きスタイルだ。注文は揚げたてのコロッケに唐揚げ、家庭的でホッとする味の出汁巻き玉子とガッツリ系の料理をいただいた。どれも美味しく、そして安い。

メのカレーうどんのために余力は残すつもりだったが、想像以上にボリュームがあったので、カラオケでお腹を空かせることに。歌い終わって10キロカロリーほど消費し、時間を忘れて梶田さんと常連さんとの談笑を楽しんでいると小腹が空いてきた。

私は言った。「梶田さん、おすすめのカレーうどん一つ」。梶田さんは答え「ごめん。今日カレーうどん売り切れやった。」

なるほど。まるで押して引いての恋愛のテクニクだ。

さて、そんな「居酒屋 一休」の取材では本当に楽しい時間を過ごせた。家庭的な料理にカラオケ、そしてお茶目な店主の梶田さん。常連が多いのも納



得だ。『なび』読者のみなさんにもぜひ足を運んでみてほしい。私も通うことになるだろう。次こそカレーうどんが食べたいから。

——後日、お誘いの電話があり、お屋にカレーうどんをいただきました。本当においしかったです。

文責…山村裕太・西原夏美

### 居酒屋 一休

住所…西成区旭3丁目6番25号  
営業時間…19時〜23時  
定休日…木・金・土・日曜日  
備考…ゴールドステッカー認証店舗



は元々コミュニケーションが苦手だったらしい。今となつては全くその感じはせず、むしろコミュニケーションが低いとは思えない。忙しいときには常連さんが手伝ってくれるようで、梶田さんの人柄がアットホームな雰囲気をつくっているのだろう。そして、お話の中でカレーうどんが人気+おススメということが判明した。メに注文することを決意。

さあ、カラオケができるといつても席に着くなり歌うという無料なことはいらない。まずはビールで乾杯だ。お



【沖田一志】仕事で捜し物。見つけた書類の日付が14年前の2007年11月だった。次男は中学生で15歳なので、この書類を作ったのは次男が生まれたころ。時間の過ぎるのが早いことを実感した。



【田岡秀朋】エルチャレの20年をまとめた本が完成。「解いてみよう橋下難問」ではじまる中身は、行政の「福祉化」と「効率化」の両立にチャレンジした軌跡が盛りだくさん。



【谷口円】突然引っ越しが決まり、この『なび』が発行される頃には新しい家にいます。たぶん人生8回目の引っ越しですが、特に慣れるわけでもなく、現在でてこまいます。



# おかんのため息

- おかん はあ…。言うてる間に年末やけど、物事にはいろんな見え方があるもんなあ。
- ◆ 息子 なんや、また唐突に。
- ベッドや電動車いすを納品した新城さんってお客さんが亡くなって、身辺整理のときにヘルパーさんと話しててん。
- ◆ ふむ。
- 最初はベッドの納品やってんけど、まあ、聞いてくれる？
- ◆ ええよ、何？
- その次は電動車いす。すい臓がんってわかってたから、乗るのは無理やと思ってた。けど、新城さんすごいプライドが高いから、「自分で運転する」って聞かん。ケアマネさんとも相談して、いちど乗って納得してもらうことにしてんけど、運転がすごい上手で。
- ◆ あれ、想定外？
- 内心、「わあ、どうしよう」。でも、これで外出できるようになるならって、ちょっと様子見することになった。すごい喜んでみたいやし「良かったな」ってずっと思ってた。
- ◆ それはいいことやん？
- でも、新城さん、薬の副作用で午前中は痛くて動かれん。薬が効いてくる夕方になってやっと活動しだすらしい。ある日、ちょっと遠くの彼女の家に行ったら、電動の充電が切れて帰られへんようになって。どうしたと思う？
- ◆ え、彼女いたの?! じゃあ、彼女の家に泊まったんかな。

- そうやねん。けど、充電が切れて帰れへんからって、彼女に自転車借りて家に取りに帰ったらしい(笑)
- ◆ 自転車乗れるの？
- ほんまはそんな動ける身体じゃない。電動のおかげでいろいろ行けるようになって、新城さんにしたら良かったなあ、と私は思っててんけど、出先で電動を乗り捨てて、ヘルパーさんに取りに行かせるようなこともあったらしいねん。
- ◆ えらい面倒かける人やなあ。
- それに、毎日のように電動で病院に通うんやけど、痛みの少ない夜じゃないと行けない。そこにヘルパーさんが付き添って行く。時間外やけど。
- ◆ 難儀やな。
- 帰りは必ず事業所に寄りがるから社員さんが見送るんやけど、新城さん、すい臓が痛くて振り向かれへんから、こう、斜めになった姿で後ろ見んと手を振るねんて。その後ろ姿が未だに目に焼き付いてるって。なんかね、「すごいプライド高くて、最後の最後までええ格好しいやった」ってヘルパーさん、何回も言うてたわ。
- ◆ なんやろ、余韻のある光景やね。
- 身辺整理のときに、私が何気なく「でも、良かったよね」って言ったもんやから、ヘルパーさんも思いが溢れてワツと一気に話してくれた。で、もっと詳しく聞こうと思ってん。
- ◆ 利用者さん目線と自分たち目線の板挟みってことかな。
- 保険適用外の仕事っていっぱいある。利用者さんに関わっていく以上、どこにも請求できんけど、やっぱりせんわけにもいかへん。
- ◆ そういうのって大手ではできんやな。
- 一人がやってしまうと、「あの人はやってくれたのに、なんでアンタやってくれへんの？」ってなるから、大きな組織では決められた範囲で仕事しないと。でも、個人の事業所はやっぱり情が入って助けたい気持ちはなるんちゃうかな。知らんけど…。

\*本文は関係者各位の許可をとって掲載しています。

## melody of smiles



11月はHalloween Partyを開催！ Halloween Danceで楽しんで♪ Trick or Treatでたくさんのお菓子をもらって♪ マフィンでジャックオーランタンを作って♪ 今年の Halloween もみんなていっぱい楽しみました☆



## たぐの 3くふうたま

# 段 間

### 段差というバリア

ハナレバナレになった人とまち。くらしの窓から紡ぐヒントを探してみる。

最近、70近くの元気な知人らが立て続けにこけてケガをした。いずれもあざやスジがいで済んだのが不幸中の幸い。「骨折で寝たきりに」というのはよく聞く話で正直怖かった。身の縮こまるこの季節、少し気をつけたい。

一人は公共施設からの帰り際。屋外舞台を見下ろすスタン

ド席を、階段と間違えて踏み外してしまった。座席の両端に階段はあったが、日が落ちて辺りは既に暗く、見分けがつかなかったのだ。

座席の最上段にはベンチがあった。ベンチの設計意図では「こ

こは階段じゃありませんよ」というサインだったのだろう。でも、利用者の年齢が高めの施設なんだから、もう少し配慮が欲しい。もう一人は家のトイレでの転倒。今の建物はバリアフリー設計だが、古い建物は床上での設備配管が主流で、水回りの床がどうしても高くなる。

どちらも手すりの大切さを痛感した。手すりさえあれば、施設の階段と座席はすぐに見分けがついたし、トイレでの尻餅も防げただろう。段差という「バリア」を実感した出来事だった。(安田拓也)



階段と客席のちがいがわかりやすい「手すり壁」

【安田拓也】1年近く共に暮らしたルームメイトが旅立って、早一月。離れるとあっけないもので、また別々の時間が流れ出す。今は3人暮らし。また新たな思い出が待っている。楽しみだ。

【福井龍磨】愛用の自転車が22歳の誕生日を迎えた。昔のアルバムをめくると、小学生の頃の自分と、買ったばかりの自転車が並んで写っている。夢中でペダルをこいでいるうちに、幾度も季節が巡った。

【西原夏美】知り合いにFF14する人が増えたらもっと楽しいのになと思ったりして誘うと、大体出て来る言葉は「気になるけどガチ勢が多そう」。ガチ勢などほばいませぬ。気になるならやってほしい。

【西田吉志】気が付けばもう12月。『なび』も年内最後の発行になりましたね。そういえば昨年の12月は入院してたっけなあ。今年はこのまま年末まで突き進めますように!!

# 葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとお喋りを聞いてください。



## 「ミリオンバンブーの葉っぱ」の巻

空にのぼる夢を見た。  
楽しくっていつぱいのぼった。  
ちよつと途中でひと休み。  
まだまだ続く空への道。  
あわてずゆっくりのぼった。  
とつぜんぐるぐる迷子になった。  
そしてふと下を見る。  
足がふるえ、もう降りられない。  
そして目が覚めた。  
でも私の足はまだふるえてる。  
私は高所恐怖症なのだった。

赤井まゆみ

### ミリオンバンブーのこと

リュウゼツラン科ドラセナ属の常緑低木。別名、幸運の竹。花言葉は「幸福」「開運」「長寿」。

# 皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



(寺本良弘)

10月31日の総選挙の結果、与党が安定過半数を確保して終わったが、大阪だけが異様な結果になった。19の小選挙区のうちで維新が15人当選、公明が4人当選。大阪市内の自民は比例代表の柳本さんだけが当選。当然、府会では過半数、市会でも過半数に近い議員が維新。府下の市町村でも多くの議員を抱える維新が確実に票数を伸ばした。

野党各党はこれからどのような政治活動を行うのか。我々のような市民活動団体は、大阪府市では与党の維新とどう向き合うのか。是々非々で政策議論を進めることが大事だが、人命や人権を守る社会の構築という目標は忘れずにいよう。

来年の参議院選挙、2年後の統一地方選挙、知事選、市長選に向けて政策と目的をはっきりさせる必要がある。

# い湯かげん

## 社会運動が遠慮しすぎた総選挙

エル・チャレンジなどが障がい者雇用を前に進められたのは、国内外に共生社会への理念が育ち、その以前から障害年金等の生活保障を求める長い運動があったからだ。障害年金約7万円、最低生活保障を担保にした上で、雇用を求めてきたのが功を奏したわけだ。Aダッシュワーク創造館や釜ヶ崎支援機構等の生活困窮者自立支援も一定の成果を上げたが、ボクは、コロナ禍もあり、就労支援だけでは辛いところに届かないなあと感じていた。何らかの現金給付が必要と思つたが、「失業者にもなれない」困窮者も多く、失業給付もミスマッチすると思つてきた。

今回の総選挙では各党が、多寡は違うが、生活給付を公約化した。しかし、

いずれも一時給付案だった。ベシツクインカムという、いわば障害年金のような生活保障をすべての人々に給付する思い切つた改革案を公約にする党(維新)もあり、生活保障を「生活保障」に名称変更する「オツ」と思う改革を公約化した政党(共産党)もあったが、どちらもほとんど評論の域を出なかつたから、知る人は少なかつた。

ボクの目には、またしても、自民党が公明党や野党の公約を呑みこんで、野党とほとんど変わらなくなつたと見えた。立憲民主党がつけられるように「一億中流社会の復活」を掲げてしまったのは、自民党の「新しい資本主義」と同じ経路に見えた。維新の会は、具体的に言うよりも、「大阪のような改革」つまり統治機構の効率化で財源を

つくと主張した。またしても「今のままではダメだ」と言い切つて、一人だけ支持を伸ばした。

立憲民主党は、夫婦別姓や性的マイノリティ支援、人権委員会設置等、それなりの人権政策パッケージを公約して、自民党との違いもはっきりし、期待もした。しかし、実際の選挙戦であまり語られなかつたのはなぜか。れいわ新撰組や社民党は結果として比列代表選挙に集中したはずなのに、人権を封印したかのようにも見えた。野党共闘がどこから「人権に熱量が欠ける」共産党に遠慮したように見えたのは、ボクだけか。人権を「後景化」したから、辻元清美さんと野党の女性候補が議席を失つたのではないか。

大阪の選挙区は、公明指定席を除くと、辻元清美さん以外は、初めから維新vs自民の一騎打ちだった。それを承知で維新は、全国選挙なのに大阪戦争に集中して完勝した。ところが、大阪の野党はほぼゼロからの出発だったのに、未だ幻影でしかない(大阪では)野党共闘に埋没したのはどうしたことか。だから、都構想、人権、生活保障をめぐる維新との論争を放棄して

しまった。結果、維新は、何の躊躇いもなく大阪改革の実績と若い主張を闊達に叫び、独走した。自民党中央は夫婦別姓や人権に後向きだが、大阪はちよつと違う。柳本さんのような現場からの人権も育つていると思われなかつた。立憲民主党など野党も若い人権派が立候補していると思われなかつた。

部落解放運動など社会運動は、もっと最低生活保障と人権政策を強く押し出して、政党に明快な態度を求めるべきだつたのではないか。ひよつとして部落問題で確執のある共産党を含む野党共闘を前にして、「大人の振る舞い」をしすぎたのかもしれない。言いたいことが喉につつかえたままでは、赤井府連委員長の体にも良くないはずだ。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



[若松司] 街頭で「そろそろマスク外しませんか」って演説してた。まあ、自分も同じ意見なんだけど、「同調圧力に負けて恥ずかしくないんですか」って、誰がマスク外すねんって思った。



[山村裕太] メガネが壊れました。保険で持っていたコンタクトを付けて出勤しました。賛否両論で今後どうするか迷っています。皆さんのご意見ご感想をお待ちしております。

地域の縁を心でつなぐ



# 心の時間

火葬場での出来事です。母との別れの際「母さん。達者でな」と叫ぶ息子。故人に「達者でな」とはトンチンカンな発言ですが、その場にいる誰もがこの言葉に感動しました。また、永六輔さんは「人間は二度死ぬ」という名言を残しました。一度目は「肉体の死」、二度目は「私の心から消え去った時」。故人は残された人の心

の中で生き続け、心の支えになっているのです。

仏教は真実を見抜く眼が重要ゆえに「智慧」の宗教とも言われます。仏典には難解な表現も含まれていますが、常識的な言葉だけでは伝えきれない「さとりや救い」の意味が秘められています。「死ぬ」を意味する「往生」（往きて生まれる）もそうした表現の一つです。

ところで「うそも方便」という諺の「方便」は「真の教えに導くための手段」という意味です。「達者でな」「人間は二度死ぬ」「往生」は常識を超えた言葉に聞こえますが、人を救うための「方便」なのです。時代は変わっても宗教でしか救われない世界があるように思います。

松向寺 通法

# ココドコ

ココはドコ？  
わたしはゆ〜れ？  
編集部が厳選した  
「にしなり100景」  
大公開！

地下へと続く階段です。パトランプも見えますね。これはどこに続いているのでしょうか？ココがドコだかわかった人は、ゆ〜とあいの受付まで！正解者にはドリンク無料チケットをプレゼントいたします（先着10名様限り）。回答期限は12月末日、ふるってご回答ください！

【先月号の答え】 玉出東1丁目12-23にある、南海電鉄 玉出変電所でした！1911(明治44)年竣工、今も現役です。



2021年5月撮影



# ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび 12月号 (vol.178)  
発行日:2021年12月1日(創刊日:2007年1月1日)  
発行:株式会社ナイス  
住所:大阪市西成区長橋3-6-33  
電話:06-6563-1156  
E-mail:info@nice.ne.jp  
url:http://www.nice.ne.jp/

編集長:若松司  
編集:沖田一志、田岡秀朋、西田吉志、西原夏美、福井龍磨、安田拓也、山村裕太(あいうえお順)  
イラスト:hidarimaki デザイン:谷口円

facebook: <https://www.facebook.com/navi.nishinari/>

facebook

